

15

河川名

やまぐちがわ

遠賀川水系

山口川

特徴・アピールポイントなど

浚渫方法の工夫により、河床でのツルヨシの繁茂を抑制し、水際や高水敷に種の多様性ある河川環境の創出を図りました。



山口川では、ツルヨシが河床一面に繁茂し、流下能力を阻害するほか、生息する生物の単調化を招いていました。そこで、ツルヨシの繁茂を抑制する浚渫計画を行いました。

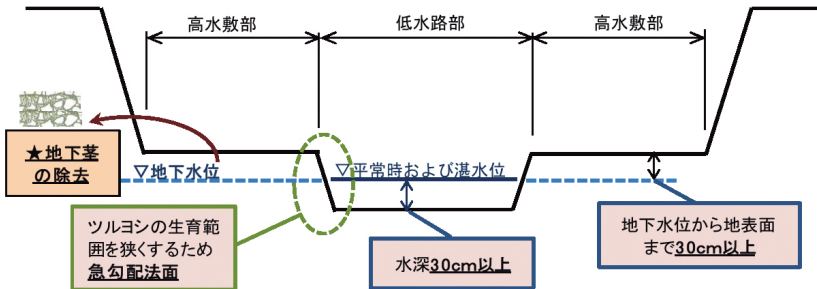
施工後3年間の植生モニタリングを行い、ツルヨシの復元抑制効果を検証しました。

モニタリング

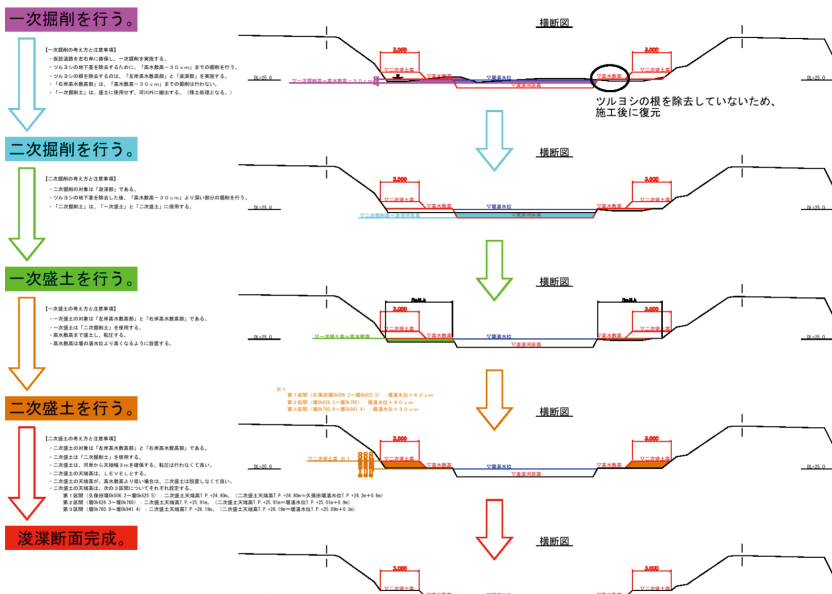
ツルヨシが好まない河川環境の整備

- ・ 低水路は、水深が常時30cm以上となるように整備。
- ・ 高水敷は、地下水位から地表面が30cm以上となる高さに整備。
- ・ 低水路の水面は、ツルヨシの生育範囲を狭くするため急勾配で整備。

複断面化によるツルヨシの復元抑制



施工手順



ツルヨシの復元抑制対策試験施工区間	
D ②高水敷90cm盛土	
浚渫前	 平成21年2月3日撮影
浚渫直後	 平成22年4月21日撮影 (3ヶ月経過)
現在 (植生繁茂時期)	 平成24年8月2日撮影 (2年7ヶ月経過)
	<p>■盛土部：クズ群落、オオバクサ群落</p> <p>■水際部：ゴギツル群落</p>
考察	<p>■全般的に低水路形状は維持されている</p> <p>■盛土部は一度左岸面からのツルヨシの侵入が見られたが、現在はオオバクサ群落、クズ群落になっている</p> <p>■床止直下で土砂堆積と攪乱が見られツルヨシの繁茂・流出が繰り返されている</p>